

# イベントレポート



## GPS デモンストレーション

2000年3月19日-20日 菅平高原

木村佳司

3月20日に長野県菅平高原で予定されていたスキーオリエンテーリング大会は、当日の悪天候のため、競技中止となった。遠方より多くの方が参加されていたが、当日の風と霧のため、仕方なかった。

競技に先立って3月19日にモデルイベントが開催された。これは菅平高原ダボススキー場の中の比較的平坦な部分を使って、そこにコントロールを設置してそれを参加者が自由に回ってトレーニングするというものである。このモデルイベントではGPSを使用したちょっとした実験が行われたのでこれを紹介しておこう。

GPSとはGlobal Positioning Systemの略で、人口衛星から送られてくる電波を元に、現在地を割り出す技術のことである。日本では近年、カーナビによって一気に一般にも普及した技術である。



まず、参加者にGPS受信機と携帯電話を身に付けてもらい、この状態でモデルイベントのコースを走ってもらう。いっぽうモデルイベントの受付が置かれたホテルのロビーにはパソコンを設置し、ここから電話回線を利用して参加者の携帯電話に電話をかけ、定期的に位置情報データを取得する。これをパソコンの画面に表示された地図上に表示する。今回はさらに液晶プロジェクタを使用して、パソコンの画面をホテルのロビーの壁に拡大投影した。



スキーヤーの現在位置、通った軌跡、現在の向かっている方向、速度などがほぼリアルタイムにスクリーン投影され、スキーヤーの動きがほぼ確実に掴むことができた。今回は最高速度 38km なんて表示される瞬間もあり、さすがスキー0 は下りは速いなぁなどと歓声があがる光景もあった。

今回使用したGPS受信機は重さ50グラムほどの超小型のもので、携帯電話と合せても非常に軽いものであった。スキーオリエンテーリングでは、マップケースを体に装着して競技を行うため、これに追加してGPS受信機を装着しても、それほど気にならないようだ。

今回、予算の問題などから1つしかGPS受信機が用意できなかったが、これを複数個用意すると、現在のレース状況が会場側からほぼ完全に把握されることになり、使い方次第によってはとても楽しい道具となりそうである。

また、GPSは0-map調査の道具として、一部ではすでに実用化されつつある。これが調査において一般的になる日も近いだろう。



## KOLA 橋本オリエンテーリング大会

一般への普及の夢を込めて

岸和田オリエンテーリング協会 横田実



1996年にKOLA20周年大会を開催した和歌山県橋本市菅蒲谷。多く余った地図をどうするか考えた結果、「小・中学生のためのオリエンテーリング大会の開催」をする事にしました。どうせ余っている地図だからと、参加費を徹底的に低くして、子ども達が参加しやすいようにして、オリエンテーリングの底辺拡大をしようという目論見です。

橋本オリエンテーリング大会では、小・中学生の対象を決めた第2回(1998年)より広報の方法を、

インターネットのHPでの掲載

メーリングリストによる要項配布

二フティーフォーラムでの要項掲示

各オリエンテーリング大会での要項プリント配布

橋本市内の全市立小学校、中学校の全校生徒への要項配布

橋本市役所での要項配布

の6つをとっています。

この部分で特に力を入れているのがです。橋本市教育委員会に後援を依頼し、教育委員会を通じて、全校生徒に配布するように手配しています。橋本市内には、市立小学校が11校、中学校6校の17校があり、対象は約1万人です。それと他の配布要項をあわせて橋本大会は13,000枚もの要項を印刷・配布しています。KOLAの大会で、これほど多量に要項を配布している大会は、橋本大会だけです。

ところが、実際の参加者は、第4回大会で64名。参加してほしい小学生・中学生・家族となると40名にとどまっています。これは、参加の意欲が少ないということもありますが、残念ながら、各学校で配布されていないということもあるようです。今までは校長宛の文書も添えて配布していたのですが、これだけでは不十分だとも思うので、次回は直接電話での依頼も必要だと考えています。大会に参加しなくても、要項を見るだけでPRには確実になるでしょうから。

また、橋本大会で心がけているのは、アフターフォローです。各学校に、きちんと報告書を送り、理解を求めて、次回配布の協力を取り付けるのも大切だと考えています。

参加者に対しては、参加料を低く抑え、小学生でも気

軽に参加できるようにしています。「中学生以下一人100円、大人一人300円」で参加賞としてジュースもつけているので、不要地図を使っているといっても完全な赤字です。また今回は、興味付けの意味も込めて、グループにも一人ずつに表彰状を渡しました。

### 第四回大会の決算概要

参加費	13,400円	+
要項印刷代	10,000円	-
ジュース代	4,000円	-
表彰状代	500円	-

これで興味を持って、他のオリエンテーリング大会に参加してくれるようになればしめたものなんですけどね。

大阪オリエンテーリングクラブでも、一昨年「初心者のためのオリエンテーリング」と称してパーク-Oを中心に開催し、その時の報告でも、「どんな方法をとれば普及に役立つか?」を検証していました。いろんな方法をとっていましたが、結局「口コミ」が確実だということでした。

一般への、競技としてのオリエンテーリングの普及は、いろいろな困難があります。でも、広く知らせていかないと絶対に広まらないのも事実です。その手段として、学校というのは多くの子どもに目につくという点ではかなり有効な手段です。これをいかに有効に使えるかが、これからの課題ではないでしょうか。また、1つの方法だけではなく、いろんな方法を組み合わせ、みんなで「普通の人が要項を手に入れられる」ように努力していきましょう。

岸和田オリエンテーリング協会 横田実

minoru.yokota@nifty.ne.jp

<http://member.nifty.ne.jp/Yminoru/kola/>



# 金沢大学大会報告

2000年4月2日

木村佳司

金沢大学大会に行ってきました。会場は広々とした芝生広場で、穏やかな春の日差しの中、気持ち良いイベントでした。

富山県との県境に近い石川県森林公園で大会が開催されました。この森林公園がなかなか広大でして、距離の短いクラスはすべてその森林公園の中だけでコースが組まれていました。Aクラスでもコースの半分は森林公園の中で組まれていました。

全般的に緑色が多い地図でしたが、山はそれほど険しくはなく、数少ない走行可能な部分をつないだマイルドなコースセッティングでした。このためなかなかスピーディなレース展開になったようです。

公園内は小径が非常に多く、ちょっと1:15,000ではつらい場面もありました。レース中にイノシシの檻を上から望み、鹿園を横に見て、坂を登っているとニホンカモシカが出迎えてくれました。

## 金沢大学大会結果 2000.4.2

MA

1	丸山茂樹	めがねくらぶ	0:49:19
2	西川雅浩	浪速包丁恋月夜	0:52:28
3	金田哲生	浪速包丁恋月夜	0:54:02

M40A

1	土屋晴彦	愛知 OLC	0:51:37
2	笠井泰自	奈良 OLC	0:59:16
3	大原一由	中京 OC	1:03:11

MAS

1	古澤ヒロシ	つるまい OLC	0:52:20
2	今井正也	富山 OLC	1:00:26
3	森田剛史	不由径	1:02:21

MB

1	大北洋平	リハビリ中	0:21:28
2	根崎真琴	一戸塗物店	0:29:39
3	中西功	一戸塗物店	0:35:54

WA

1	出利葉理子	信州大 OLC	1:10:01
2	山越千鶴	新潟大 OLC	1:10:34
3	齋藤裕美	信州大 OLC	1:12:18

WAS

1	古澤久美	つるまい OLC	0:59:53
2	佐藤順子	大府市	1:04:42
3	福田瑞恵	小松市 OLC	1:09:21

WB

1	中田啓子	OLC ルーパー	1:00:42
2	堀ゆかり	筑波大 OLC 愛好会	1:08:02
3	松本真由美	京女 OLC	1:46:10

N

1	金安雅夫		0:35:27
2	池田恭子		0:39:49
3	前川竹子		0:41:25

G

1	植木一也		0:17:09
2	古谷智美		0:21:26
3	池上弘之	富山 OLC	0:26:14



## 金沢大学大会 優勝者の感想



WA1 位 出利葉 理子 (信州大学 OLC)

金沢大学大会・WA で初めて1位をとりました。

当日、午前2時半に長野を出発したためか、会場に着いたときにはとても疲れていました。スタート前、体調が悪いと感じましたが、どんな状態であれ精一杯頑張ろうと決めました。レース中は案の定きつくて仕方ありませんでしたが、最後まで妥協してはいけないと思って走りました。タイム、内容は全然納得のいくものではなくて、ゴールしたときはすっきりしない気持でしたが、1位とわかったときには、やっぱり最後までねばってよかったと思いました。



MA 優勝 丸山茂樹 (長野 OLC・めがねくらぶ)

いやあ、とにかくにも優勝ですからね。素直にうれしいですよ。しかも、一番上のクラスで勝つことができるなんて、なかなかないことですからね。一説にはこの日ワールドカップの代表選手選考会があって、エリートの人たちは来てなかったとかそんな話もありますけど、別にいいですよ、そんなのは。とにかく、勝ったと。それでいいじゃないですか。

レース内容も、今回はほぼ完璧でした。ミスもほとんどなかったし、流れるように走ることができました。え、道走りばかりだ？ インカレのFクラス並み？ ま、コースがどのようなものであってもそれに合わせて走ればいわけですから。

トレインはA:B:C が1:1:8 とかいうプロフィールどおり、緑色が目立っていましたが。それでも下手にヤブを切られるよりは今回みたいに道をがんがんに走ら

されるほうがよっぽどいいですね。道を細かくつないでいくってのも実は結構神経を使うんですよね。スピードもあがってるし。そういう意味ではすごくおもしろかったです。あと、トレインには公園部分が結構多かったので、縮尺を1万分の1とかにしてその辺にコントロールを置いてもおもしろいかなーと思いました。

ま、何にしても天気が良くて、さわやかでよかったです。公園の青空会場だったんですが、天候次第では印象がまったく変わってしまいますからね。運営もスムーズにいったようだしよかったんじゃないですか。

僕は、これまで3年連続で金大大会に参加してるんですが、一昨年4位、昨年2位、そして今年1位とだんだんステップアップしてるんですよね。来年もいい成績を残せるよう、がんばりたいですね。ま、来年はこうはいかないでしょうけど。打倒浪恋&関西方面のタコなエリートってところですかね。

## 人間加治丘陵まつり報告

2000年4月9日

人間市 OLC 清水伸好

穏やかな天気の中、桜も満開のちょうど見ごろの駿河台大学(埼玉県飯能市)で、第3回人間加治丘陵まつりが盛大に開催されました。

事前申込者200人ということで2000年にふさわしい大会(?)となり、当日参加者が個人74名、グループも65チーム250名と500人規模の大会となりました。

また、焼そば、焼き鳥、ビールなど多くの出店もありオリエンテーリングだけでなくイベントの方でも十分楽しめたことと思います。参加された方々に深く御礼申し上げます。

今回初の試みとして、Eメールでの申し込みをいたしました。これは申し込みだけメールで受けて、お金は当日払いというもので、郵便局にいけない会社の方々などには大好評でした。今回37通の申し込みを受け付けました。次回も修正を加えながらまたEメール申し込みを続けていきたいと考えていますのでよろしく願います。

さて、レースのほうですが、最高クラス玉露の優勝者はKing of IRUMA 澤田晴雄さん、Queen of IRUMA 志村直子さん、と決定いたしました。

### 玉露 M

1. 澤田晴雄		49:30
2. 森内知男	カゴメ RC	50:51
3. 小泉辰喜	権太坂 OL 愛	52:49

### 玉露 W

1. 志村直子	かすいち倶楽部	1:14:53
2. 山田陽子	函情大 OLC	1:18:33
3. 神石明子	埼玉大学 OLK	1:39:20

### 煎茶 M1

1. 小野賢二	多摩 OL	41:07
2. 熊田信行		41:08
3. 富樫 勉	サン・スーシ	44:20

煎茶 M 2			
1. 長友武司	OC WOODS		43:24
2. 草柳道夫	FWELL		45:51
3. 野々山一郎	丘の上		45:56

煎茶 W			
1. 後関文	丘の上 OLC		1:00:27

番茶 M 1			
1. 酒井忠正	西武 OL クラブ		46:13
2. 海野忠秋	川越 OLC		57:14
3. 清水良隆	川越 OLC		57:44

番茶 M 2			
1. 小林重信	前橋 OLC		44:15
2. 佐藤茂太	埼玉大学 OLK		45:22
3. 山本 保	サン・スーシ		45:41

番茶 W			
1. 砂川陽子	丘の上鶴亀倶楽部		54:13
2. 澤田慶子			56:46
3. 馬場真紀子	かすいち倶楽部		1:07:03

新茶 M			
1. 薦岡成年	エザキング OC		29:16
2. 村上英之			30:45
3. 土田克宣	春日部 OLC		56:01

新茶 W			
1. 水馬裕子	エザキング OC		41:34
2. 柏田友美	エザキング OC		59:16
3. 井藤正子	川越 OLC		1:39:20

0 玉露			
1. 篠原岳夫	川越市		47:46
2. 桜井太郎	横浜 OL クラブ		49:42
3. 遠藤太郎	京葉 OL クラブ		59:46

0 煎茶			
1. 小比賀健司	つくば ROC 42:18		
2. 山口大助	FMC 千住支部		43:33
3. 小林二郎	愛知 OLC		44:22

0 番茶			
1. 新垣良憲	水簾刈	45:25	
2. 吉井博一	かすいち倶楽部		46:25
3. 花田拓紀	丸紅	48:27	

0 新茶			
1. 秋本礼子			33:20
2. 小川泰生	都築工ランナース		36:55
3. 山川和子			52:24

ぼうけんコース			
1. 福原正三他 1 名	川越 OLC		48:23
2. 山崎幹真他 1 名			58:45
3. 宮田宏明他 1 名			1:01:18

わんぱくコース			
1. 井口 肇他 3 名			44:20

2. 三原孝太郎他 3 名	ボーイスカウト		57:07
3. 木川圭介他 2 名	ボーイスカウト		1:10:57

のんびりコース			
1. 三科ヒロ美他 1 名	ハイジ		36:58
2. 花田拓紀他 1 名			45:52
3. 大出孝夫他 1 名			53:28

## トータス八ヶ岳 2 日間大会

4 月 8-9 日 山梨県-長野県境

木村佳司



トータス大会 2 日目

スキー場上部の雪原に設けられたコントロール  
ここから見える高原の風景は絶景。

トータスの手による 2 日間大会が八ヶ岳で開催されました。

1 日目の土曜日はリレー大会で、甲斐小泉駅付近の比較的緩やかな斜面で開催されました。このテレインは今までも何度かイベントや合宿で利用されており、ベテランオリエンティアにはお馴染みの場所です。

早春の八ヶ岳高原の通行可能性は抜群で、いつも頭を悩ませてくれる微地形もあり、参加者はなかなか楽しんでいただようです。

2 日目は八ヶ岳のテレインの中でも最高の標高をほこる AMIGASA のテレイン。やや傾斜がきついものの、これもオリエンティングには絶好の環境です。

コース終盤には、営業が終了したばかりのスキー場の雪原を一気に駆け下るというコース設定もされており、いつもとは一味もふた味も違ったオリエンティングが楽しめました。

ただ残念なことに最上位クラスがコントロール記号のミスにより、競技不成立になってしまいました。

若いメンバーの多いトータスがいろいろ趣向を凝らした 2 日間大会だったので、これにめげずまた色々チャレンジしてもらいたいと思います。

2 日間とも素晴らしい天気恵まれ、早春の高原を満喫できた大会でした。



トータス大会 2 日目

スキー場の中に設けられたコントロールパンチング方式として SI (スポーツアイデント) が使用されている。昨年のジュニア世界選手権やベテランズ世界選手権でも使用された電子式パンチ。

## 全日本大会前夜祭 報告

2000 年 3 月 24 日 北九州市

広島 OLC 新谷雅司



OLC 吉備路の呼びかけで、全日本大会前夜、北九州市立「玄海青年の家」において、韓国人選手 6 名を含む 40 名以上が集まり、村越氏を招いて研修会が開催された。

午後 6 時過ぎ、指導者研究協議会を終えてかけつけてくれた村越氏。文字どおり軽くジョギング後、研修会に臨んでくれた。研修内容は多岐にわたった。研修終盤には、オリエンテーリングの問題点と活性化の方法について、皆、真剣に討議した。

研修後の懇親会においても OL の話題は尽きなかった。今回の研修会を企画してくれた吉備路の諸氏、とくに身を粉にしてお世話いただいた吉岡康子さんに感謝したい。また、負傷後 98 パーセントの走力は戻ったという村越氏にもありがとうを言いたい。

## 全国指導者協議会報告

2000 年 3 月 24 日 北九州市

村越真

全日本大会の前日である 3 月 25 日午後、恒例の全国指導者協議会が開催された。

この全国指導者協議会では、各都道府県協会为中心的に活動している指導員等が集まり毎年開催されているが、実質的な協議の機会というよりも、むしろ顔見せ・懇親的な儀礼的行事としての側面が強かった。

本年は昨年第 1 回が行われた全国一斉オリエンテーリング大会の反省と来年移行の大会をどのように開催するかという実質的な討議が行われた。

全国一斉オリエンテーリング大会は、各都道府県の組織運営上の問題として多く上げられていた「PR とトリムの実施の不足」に対応すべく、企画された大会であった。しかし、実際には全国規模での PR が展開できなかったこと、父の日の他の行事とのバッティングで、十分な参加者が得られなかったことなどの問題点が指摘されていた。

当日の議論の中で、多くの参加者が集まった都県では、地元学校への PR や鉄道の社内ポスターなど、参加者獲得の努力がなされていることが報告された。認知度の低いオリエンテーリングとしては、やはり地道な PR と参加者獲得のための活動が欠かせない。

平成 12 年度も引き続いて全国一斉オリエンテーリング大会は開催されることとなったが、当日申し込みも認める、各協会単位で要項を作成するなど、各地域の実情に対応した形態で開催することが確認された。

協議中、理事の中島氏から、「第一回は中央主導でやろうとしたが、金銭的にも大変であり、からぶりに終わった。途中からそれぞれの地方にメディアへの接触を促した。実際の重点は地方におかなければならないのではないか。どこがどう困っているかという点については、中央は十分につかむことができない。そういう具体的な要望があると応援できる可能性がある。」との発言がなされた。

オリエンテーリングの普及にあたっては、JOA の怠慢を批判するだけでなく、個々の協会、そして一人一人のオリエンティアの地道で継続的な努力が必要だと感じた。

## 北信越 O-クラブ連絡協議会総会

2000 年 4 月 1 日 石川県倶利伽羅塾

報告 木村佳司

### トピック

ここ数年でビッグイベントが北信越地区で行われる。

石川県 2000 年 10 月 1 日 スポレク

富山県 2000 年 11 月 19 日 全日本リレー

福井県 2001 年 11 月 25 日 東日本大会

パーマメントコースの管理についての情報交換

福井県 PC が少ない。大会の運営と連動させて PC のメンテを行っている。

石川県 一人 3 コース程度を担当して巡回。

富山県 大会に合わせてメンテする。

新潟県 上越 OLC が管理する PC は秋にフラッグを撤去し、春にフラッグを設置、夏に草刈り。

長野県 コース管理者に任せてある。